

令和元年度第3回伊賀市大山田財産区管理会 会議録（概要）

日 時：令和2年2月28日（金）9:30～10:40

場 所：大山田農村環境改善センター 2階小会議室

出席者：（管理委員）豆本会長、松本副会長、西尾委員、中澤委員、馬岡委員、福持委員、蛭澤委員
伊賀森林組合 増田、前田
（事務局）大山田支所 狩野支所長、杉野課長、増岡主幹

財産区管理会 議事録（概要）

事務局	定刻となりましたので、ただいまから令和元年度第3回伊賀市大山田財産区管理会を開会させていただきます。進行を務めさせていただきます、大山田支所振興課の杉野でございます。よろしくお願いいたします。それでは会議次第の2、会長あいさつということで豆本会長様よろしくお願いいたします。
会長	失礼します。皆さんおはようございます。何かとご多用の中、本日は第3回の財産区管理会という事でご出席いただきありがとうございます。昨今は新型コロナウイルスばかりで、ニュースも大半がそれです。昨日は全国の小中学校が、3月2日から春休みの間の新しい学期が始まるまで休みという事で指示が出ていました。催しにつきましても、御承知のとおり一昨日に役所の方から、出来るだけ控える様にと指示がありまして、ライトピアの梅まつり、民生児童委員の子どもフェスティバル、ゲートボール大会、それから財産区のチェーンソー講習会もその様な事情で皆に合わせて中止という事になった訳ですけれども、全国的に広がって、自分らで自分の身を守るようにという事と思っています。我々も一生の間にこの様な経験をした事がないので、大変な事態になってきたと思います。早く収束する事を願っているのですが、おかげで大山田では空気が美しいのでありがたいと思っています。近年は人の動きが大きいので、昔みたいな閉鎖空間だとそういう事は無いかもしれませんが、物流、人の動きも多いのでかなり動いてくるのかと思います。皆様も健康に留意され、それぞれの仕事に励んでいただきたいと思います。さて、本日は事項書にあります様に、懸案でありました森林整備計画について叩き台を作らせてもらい、2回ほどご享受をさせていただき最終的な案という事で提示をさせていただきます。令和元年度補正予算、令和2年度当初予算要求という事でご審議を賜りたいと思います。一つよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。
事務局	ありがとうございました。続きまして会議次第3の支所長あいさつということで、よろしくお願いいたします。
支所長	失礼します。大山田支所の狩野でございます。平素は伊賀市の行政、とりわけ財産区の事業につきまして、格別のご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。立春を過ぎまして、三寒四温で日増しに春の気配が出てきている所でございますが、二十四節気では今、雨水という事で、今年は全然雪が降らないのですけれども、雪や氷が雨水に変わるという季節になってきた所でございます。今会長さんからも話がありました様に、新型コロナウイルスという事で、厄介な病原菌が広がってきています。感染者が全国で増加をしており、問題は新型という事で特効薬が無いので、とにかく広

	<p>げるのを止めようとする国策がいろいろあるという事で、患者の蔓延を心配しまして市の方も行事を全部やめるという事になりまして、今回財産区のチェーンソー・間伐体験会を中止せざるを得なかったという事で非常に残念な事だと思います。今日は会長さんからもありました、第3回の財産区管理会という事で、ご出席いただきありがとうございます。平素は会長をはじめ、管理会委員の皆さんには財産区の山林管理等につきまして大変お世話をおかけし、合わせてお礼申し上げる所でございます。今日の議題につきましては、長期森林整備計画、令和元年度の最終補正、それと令和2年度の当初予算要求、査定も済んでおりますけれども、これにつきましてご説明をさせていただきますので、内容の協議をよろしくお願ひしたいと思ひます。忌憚のないご意見を頂戴したいので、どうぞよろしくお願ひします。簡単ですがあいさつに代えさせていただきます。よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。続きまして議事に移らせていただきます。議事の進行につきましては、伊賀市大山田財産区管理会条例第5条第2項に、会長は管理会の会議を主宰し、とありますので、この後の議事は豆本会長にお願いしたいと思ひます。また、管理会条例第7条第3項に、管理会の議事は出席者の過半数をもって決するとあります。可否同数の場合は、会長の決するところによる、とありますので、よろしくお願ひいたします。さらに、伊賀市情報公開条例第24条第1項により、本会は公開とさせていただきます。議事録を作成しホームページに掲載して公開する為、議事内容を録音させていただきますことをご了承いただきたいと思ひます。以上よろしくお願ひしたいと思ひます。ここからの議事進行を、豆本会長様よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>それでは、これより会議を進めたいと思ひます。委員の皆さんには、議事のスムーズな進行につきましてご協力を頂きたいと思ひます。本日の出席委員は7名でございます。会議は成立いたします。会議次第の4、会議録署名委員の指名について議題といたします。会議録に署名頂きます2名を私から指名させていただきます。中澤委員と馬岡委員でよろしくお願ひします。後日議事録を確認して署名捺印を頂きますのでよろしくお願ひいたします。それでは会議次第5の議事、協議事項に入ります。(1)の大山田財産区有林長期森林整備計画について、を議題とします。事務局からの説明をよろしくお願ひします。</p>
森林組合	<p>説明させていただきます、伊賀森林組合の増田と申します。こちらは前田と申します。よろしくお願ひします。平素は伊賀森林組合の運営並びに事業推進に格別のご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。大山田財産区に至りましては本年度も数多くの事業を大山田の区有林の中でさせて頂いています。ありがとうございます。非常に数多くの事業でございますが、またの機会にすべてご報告をさせて頂きたいと思ひます。よろしくお願ひします。本日は7月4日の管理会でご承認を頂きました、伊賀市大山田財産区有林の長期森林整備計画の策定につきまして、ご説明に参りました。座ってご説明させていただきます。お手元の資料をご覧下さい。叩き台はこちらで作成しましたが、幾度か会長と副会長に出て来て頂き、ご指導、ご意見を頂きまして今日に至ります。それでは案につきましてご説明させていただきます。(詳細について説明)説明は以上ですが、何かございましたら承ります。</p>
会長	<p>補足しますが、冊子になっている方は、役所、市民センター、財産区で管理するとい</p>

	う事で、ある程度数を作らせてもらって、概要版については、全戸配布という事で計画しています。財産区の受益を受ける方は、大山田の住民すべてという事でその方に計画を周知する目的で概要版を作成しました。将来的にやっていきたいという方針を決めていきたいと思いますので、よろしくご審議をお願いします。
支所長	冊子は何部作成して、どこへ置きますか。
会長	この間言っていたのは、80部作成すると言っていましたか。
事務局	100部作成する予定です。
会長	概要版は1,400部ですか。
事務局	2,000部作成します。
支所長	100部はどこに配るのですか。
会長	それはまだ決まっていません。
支所長	主要行政機関、例えば公民館とか。
会長	自治協にも設置したい。区長に渡してもすぐ代わる。
支所長	区へ1部ずつ渡して、持ち回ってもらうとか。
委員	すぐ無くなるのでは。
会長	区へ配布するのも良いと思います。
支所長	市議会議員は入っていますか。議員には配布しませんか。
会長	地元の議員には渡しても良いのでは。
支所長	1人渡したら、全員渡さなければならない。予算的には増刷は出来ますか。
事務局	可能です。
支所長	議員の保存用に50部とか持っておかないとだめだと思います。増刷ならそんなにかからないのでは。
森林組合	かからないと思います。
支所長	これはホッチキス止めですか。
森林組合	製本までは関わっていないのでわかりません。印刷屋さんでかっこよく作ってくれると思います。
事務局	ホッチキス止めではありません。
支所長	無線綴じですね。増刷してもよろしいか。
会長	予算に問題が無いのなら良いです。
支所長	問題ありません。数万円のものだと思います。
事務局	予算は大丈夫です。
支所長	それでは増刷させていただきます。
森林組合	保存用はほしいと思います。今回配布して終わりではないので。
会長	議員も代わっていくので。
支所長	内容としてしてはこれで良いと思いますが、見た中で訂正したい所があります。例えば、二桁の数字は半角にするとか、数字が行をまたいでいる所があるので。行初めに・の所があるが、行の間に埋もれている。もう1文字前へ出して下さい。別のページには・ではなく○の所がある。どちらかに統一してほしい。その様な所をチェックさせて頂いて後で渡します。

森林組合	また修正させていただきます。
会長	公文書では・ではなく、(1)の(ア)、(イ)とか表示している。
支所長	その表示では、物事の順番を付けてしまう。ア、イ、ウで並べると、アを一番先にしなくてはならない。となってしまうので、並行に並べるなら・でも有効です。
委員	ア、イ、ウは優先順位になる。
支所長	A、B、Cとかも順位を付けます。最後のページに奥行きが無いとか、表紙の下に大山田財産区のタイトルが無いとか、細かい事がいっぱいあります。
森林組合	わかりました。
支所長	はじめにの豆本会長の文書は明朝体にしてよろしいか。
会長	はい。
支所長	一番最後の豆本会長の名前は自筆のサインにしてよろしいか。その方が良いと思います。写真までとは言いませんが。
会長	その様にします。
森林組合	ご指示の通り修正します。
会長	技術的な事は、事務局と調整してよろしくをお願いします。委員さんご意見はありませんか。
委員	間伐で大径木とあるが、どの位の大きさですか。
会長	200年位なのでどれ位になるか。
委員	200年の木はあるのですか。
会長	財産区の山には無いが、他の山にはいくらかあると思う。
委員	直径70cm以上が大径木です。
会長	場所の良い所は早く大きくなる。
支所長	大径木の後に直径70cm以上とカッコ書きで入れますか。
会長	必要無いと思う。大きい木を造るという事なので、70cm以下は大径木ではないのかという事になる。
委員	泥淵のヒノキは年数経ってもそれ程大きくない。そういうのもあるので、線引きしてもしょうがない。
委員	概要版の整備年表で、奥間谷林班の平成18年から令和8年まで大分空いているがいいのですか。
森林組合	奥間谷林班の間隔が空いている理由については、風力発電の話があるので空けてあります。
会長	子延の東谷の奥間谷林班で、風力発電がかかってくる計画だったので延ばしました。
委員	そういう事ですか。期間の間隔がなぜ長いのかと思いましたので。
委員	風力発電の計画があったのですか。
会長	3年程前からシートックより話があった。今は環境アセスメントまで完成していますよね。
委員	今は私有地の地質調査をしている。承諾の印鑑を依頼する為に家を訪問している。
会長	財産区には地質調査の承諾の依頼は無い。
事務局	無いです。

会長	という事は、財産区の土地に影響が無いのかもしれませんが。
委員	自分の土地が計画にかかる様なので、業者が訪問してきた。
会長	財産区の土地は計画から外れたのかも知れません。
委員	道路は整備されるかもしれない。
会長	風車は出来ないが、道路は出来るかもしれません。どこに建設をするかはまだ確定していない。後1、2年かかると思います。令和3年か4年に計画を掲載しても良いと思います。
委員	計画なら掲載した方が良いでしょう。その時出来なくて良いのだから。最初から掲載しないのはおかしい。
会長	令和2年については、2つ掲載されているので、3年か4年に掲載が可能だと思います。そういう事にしましょうか。
森林組合	3年に掲載しましょうか。
会長	3年に入れましょう。それまでにはシーテックに状況を確認します。
森林組合	次は令和13年に入れます。
会長	他にありませんか。財産区も関係があるので、シーテックに説明に来てもらう方法もあります。実際財産区有林に影響あるのか、道路が整備されるのかというのもあるので、来年度でも来て頂いて、進捗状況を聞くのは必要だと思います。事務局さん頭の中に置いて下さい。
支所長	少しよろしいですか。今おっしゃっている話の中に、社会的な情勢の変化と天候の変化によって、この計画が数年前後する場合があるし、場所が変わる場合もありますという事がどこかに書かれていますか。
森林組合	特には書いていません。
会長	書いていた方が良いでしょう。
支所長	原則この内容で進めますが、何が起こるか分からない。
会長	逃げ道作りで。
支所長	風車の計画がいきなり来たらいやなので、どこかに入れて下さい。
森林組合	わかりました。
会長	他にご意見はありますか。無いようでしたらこれでご承認を頂けますか。
委員	はい。
会長	ありがとうございました。大山田財産区有林長期森林整備計画についてはご承認を頂いたという事で、次に移らせて頂きます。森林組合さんありがとうございました。よろしくをお願いします。
森林組合	ありがとうございました。
会長	続いて(2)の令和元年度補正予算(第2号)について、を議題といたします。事務局からの説明をお願いします。
事務局	振興課の増岡です。よろしくをお願いします。それではこの3月議会に提出いたします、令和元年度伊賀市大山田財産区補正予算(第2号)についてご説明をさせていただきます。資料No.1をご覧ください。(詳細について説明)以上で説明を終わります。
会長	ありがとうございました。

支所長	1点よろしいですか。歳入の基金繰入金が当初100万円から0円になった事と、歳出で基金の積立金が0円から467万5千円になっている。この違いについて、方や繰入金で方や積立金なのですが、わかりにくいので説明して下さい。
事務局	繰入金が当初100万円あり、補正で0円になっていますが、これについては今年の補正予算で、温泉の関連で100万円計上しましたが、予算上100万円支出が追加となった為、他の支出を100万円減額するよりも、新たに収入を100万円増額するようと、財政より指示があったので、基金の繰入で100万円計上しました。しかし、最終補正で収入から支出を引いた額が基金積立金の467万5千円となるので、100万円を繰入する必要がなくなった。その為、100万円減額となります。積立金が0円というのは、当初予算で積立金を計上しなかった為ですが、最終補正で467万5千円余剰金が出たのでその分が基金積立金となります。
支所長	つまり、温泉を補助する為にわざわざ基金から100万円を出さなくても、歳出で567万5千円余ってきたので、そこから100万円を温泉に出して、残った467万5千円が基金として積立ますという事ですか。
事務局	そうです。
会長	100万円については、温泉からの要望があるのですか。
支所長	去年の要望分です。継続して来年度も予算計上していますが、要望書はもらっていません。
会長	温泉はいつまで続きますか。
支所長	あと2年です。
会長	指定管理料を払っていますか。
支所長	そうです。その時に温泉の方向性については、市としては放したい事には変わっていませんので、公社にやってもらおうともうまいと、伊賀の湯に来てもらっても、どこでも構わない。というスタンスです。更に今のこの状況で建物や設備の補修に莫大な経費が掛かるが、市としては修繕するお金が無いので、現状渡して入札した時、どこも手を挙げないなら、そのまま廃止となります。
会長	温泉スタンドも。
支所長	すべて廃止です。あのまま廃屋となって残っていく。それもいたし方ありません。
会長	自噴して上がって来ているのでは。
支所長	自噴していません。吸い上げです。
会長	今は量を取るの吸い上げしています。
支所長	ほっておいたら上がってくるのですか。
会長	掘削した時は自噴していた。1分間に3000上がっていた。
支所長	方向はそういう事で、指定管理が終わって公社が自力で経営していく事になった時は、引き続き財産区に対して、補助の要望を出す可能性が高い。その場合、管理会で支出を決定すればいいと。支出しないとすれば協力しないし、地元の事なので50万円でも継続して補助しようとか、管理会で決めてもらえば、直営から公社になったが可能ですと副市長は言っています。
会長	あれだけの施設を市が金を出さないとすると、現状のままなら公社が引受けても維持

	管理が出来ないと思います。
委員	一時期、財産区と温泉と農林業公社が一体となって、経営したらとの話があったが、具体的に出ていますか。
会長	その様な事をしたら、財産区のお金が減る一方なので。
委員	具体的な話が出ていないならいいです。
支所長	農林業公社に関しては、議会でも意見がくすぶっています。経営も悪いし、当初渡した金も返ってこないのので、どうなっているのかと議員も頭に来ています。農林業公社としても手を尽くしてがんばっておられるので。農地の集約化とか新しい事に取り組んでおられるし、大山田ファームも小作をがんばったりもしているので、それはそれで地域の受け皿として、そういう組織がある事はすばらしい事だと、いう評価もあるのも確かです。他ではそういう組織は無い、大山田だけだという事で非常に評価が高い所もあります。さるびのでしたら、島ヶ原のやぶっちゃと一つにという話は昔ありましたが、ここまで来てしまったら、どちらも法人化してしまいましたので、なかなかむずかしいという話が出ています。
会長	農林業公社はいい組織だと思うので、これから集落営農も転換期が出てくると思います。今は集落営農も、65歳から75歳までたくさんいるのでしていますけども、いなくなった場合、集落営農もパンクすると思います。そういう時は農林業公社が絶対なくてはならないと思いますので、それを潰してしまうと、田の維持管理は出来ないと思います。個人で沢山している人もいますが、仮に病気になってしまったら、止まってしまいます。組織でないと閉塞して進まないと思うので、むずかしいと思います。補正については、現行の予算の中で処理が出来るという事で、全体では増額したという事です。それと、基金の積立金については、予算の余剰額があったという事で基金の方に積立をするという事ですのでご理解頂きたいと思います。他によろしいですか。無いようですので、令和元年度補正予算（第2号）については、ご承認頂けるという事でよろしいですか。
委員	はい。
会長	それではこの件については、ご承認頂けたという事でよろしく申し上げます。それでは続きまして、(3)の令和2年度当初予算要求について、を議題といたします。事務局からの説明をお願いします。
事務局	それでは、令和2年度伊賀市大山田財産区当初予算要求についてご説明をさせていただきます。これにつきましては前回の管理会でも説明をさせて頂きましたので、内容の追加した部分について説明をします。資料No.2をご覧ください。(詳細について説明)以上で説明を終わります。
会長	ありがとうございました。前の新年度予算要求から、水源林整備事業が国の方から事業決定の内示があり、新たに歳入と歳出を同額で計上し、事業費が672万1千円増額したという事で、ご審議頂きたいと思います。水源林整備事業は国からの予算が来るのでありがたい。その代わり、皆伐して精算した時は分収比率によって按分される。ただ、経費が引かれるので、どれだけ残るのか疑問が残ります。水源林整備事業はお金は要らないから、木で残してほしい。そのまま残してくれれば木が大きくなる。木を切れば1から植林をしなくてはならないので大変です。ご意見はございませんか。

委員	はい。
会長	(3)の令和2年度当初予算要求については、ご承認頂いたという事でよろしいですか。
委員	はい。
会長	ありがとうございます。それでは続いてその他の項に入りたいと思いますが、事務局から何かございますか。
事務局	シデノ木原林道の改修の件ですが、昨年12月18日に市の農村整備課と奥馬野の川極さんと財産区で協議を行い、事業費が1,600万円かかるという事ですが、市の事業として行う事になりました。地元負担金が10%の160万円必要という事で、地元負担金の内訳は今後の協議で決めていきたい。事業は早く令和2年度の9月補正で計上する予定です。
会長	先程もあいさつで言いましたが、チェーンソー講習会が新型コロナウイルスで止む無く中止することになりました。委員の皆様には事後承諾という事で、大変申し訳なく思っています。ご了解を頂きたいと思います。
支所長	次年度の当初予算に盛り込んでいませんが、当初予算を作成するのが12月なので、まだコロナウイルスが広がるまでに作成していますので、ここには含まれていませんが、講習会は次年度に振替えるのはどうですか。
会長	します。それぐらいの経費は出るのでは。
支所長	出ると思います。
会長	組み替えたらいだけ。当然していきたいと思います。これからは忙しくなるので、9月以降で出来たらと思います。
委員	季節的には、盆までが良い。
会長	他にはありませんか。
事務局	水源林造成事業担当者会議ですが、正式な文書は来ていませんが、4月13日(月)に開催される予定です。通知が来たら連絡をします。
会長	剣谷林班の侵入口の場所はどこになりますか。
事務局	くわしくは聞いていません。
会長	川北から行くと思います。昔の道が通行可能なら、中村の山からも行けます。ただし道路の修繕が必要になると思います。他にありませんか。
事務局	ありません。
会長	委員さんから何かありませんか。無い様ですのでこれで終わってよろしいか。
委員	はい。
会長	お忙しい中ご苦勞様でした。本日ご協議頂いた3つの項目につきましては、すべてご承認頂いたという事で、本当にありがとうございました。これを持ちまして、閉会をしたいと思っております。ありがとうございました。
一同	ありがとうございました。

会議録署名者

大山田財産区管理会 会長 _____ 印

大山田財産区管理会 委員 _____ 印

大山田財産区管理会 委員 _____ 印